

2014年4月7日

報道関係各位

ロボットが家にやってきた！  
オムニボット  
次世代エンターテインメントロボット「**OMNIBOT シリーズ**」6月から登場！

手のひらのジェスチャーで操作できる「Hello! MiP」 & 人のことばに反応する小型犬ロボ「Hello! Zoomer」

株式会社タカラトミー

株式会社タカラトミー(代表取締役社長:富山幹太郎/所在地:東京都葛飾区)は、“ロボットがいる遊び心のある生活”をコンセプトに、次世代エンターテインメントロボット「OMNIBOT(オムニボット)」シリーズ※を2014年6月から展開してまいります。

第1弾として、実績のある海外パートナーメーカーと協力し、「Hello! MiP(ハローミップ)」2種(ホワイト/ブラック)希望小売価格:各15,000円(税抜き)を2014年6月21日(土)、「Hello! Zoomer(ハローズーマー)」希望小売価格:15,000円(税抜き)を7月26日(土)から、全国の玩具専門店、百貨店、家電量販店、一部雑貨店、インターネット等にて順次発売いたします。

その後もオリジナルで開発したロボット等を順次展開し、シリーズ全体で、2014年度で20億円、3年で50億円の市場規模を目指します。



(写真右)リモコンを使わず、手のひらのジェスチャーで操作する2輪走行の不思議なロボット「Hello! MiP」  
(写真左)人のことばに反応し応えてくれる愛嬌たっぷりの小型犬ロボット「Hello! Zoomer」

タカラトミーは“ロボットと共に暮らす生活”を夢見て、1984年より数々の家庭用ロボット「OMNIBOT(オムニボット)」シリーズを世に送り出してきました。あれから30年、テクノロジーはめざましく発達し、スマートフォンやウェアラブル端末、介護ロボットのように30年前では誰も想像できなかった「未来」を実感できる世の中になりつつあります。

エンターテインメントロボットの世界も、これまでのリモコンによる一方的な動作指令で決められた動きをする従属型ロボットから、こちらの手の動きなどに反応する直感操作や、語りかけに反応する音声認識による操作で、よりなめらかでスムーズな動作が可能でコミュニケーションロボットへと進化しました。

タカラトミーでは新たな時代にふさわしい「OMNIBOT(オムニボット)」シリーズとして、技術の進化をおもちゃ屋らしい工夫と発想力で商品化した「Hello! MiP」と「Hello! ZOOMER」を皮切りに、生活に潤いをもたらすロボットの数々を引き続き積極的に提案してまいります。

## 手のひらジェスチャーで操作する「Hello! MiP(ハローミップ)」

MiP は、ジェスチャーで操作できる2輪走行のロボットです。「ジェスチャーセンサー」を内蔵しているため直接触れなくても手のひらをかざすだけで操作ができます。また、「倒立振り子センサー(Mobile Inverted Pendulum)」を搭載したことで、二輪での自立はもちろん、モノを持たせてもその重さを認識して、さらに自力でバランスをとります。



実際に動く様子をこちらから  
ぜひご確認ください↑

MiP には下記のように合計で7つのモードがあります。片方の車輪を回すことで簡単にモードを変更できます。胸のランプの色で選んだモードを表示します。

コントロールモード	MiP の目の前に手をかざし、手を正面方向に遠ざけると、手を追いかけて前進します。手を止めると停止、左右に振ると旋回、手を近づけると後進します。
バランスモード	付属のトレーを使い、色々な物を持たせてバランスを取らせます。モノを乗せると重さを調整しバランスをとります。本体と同じ重さの350g までのモノであれば運ぶことができます。
ダンスモード	MiP が胸部にあるスピーカーより音楽を発しながら踊るモードです。
自由走行モード	MiP が自由に走行し、障害物を感知すると方向を変えて3分間走り続けます。
学習モード	ジェスチャーにより動きの指示を50個まで覚えるモードです。
逃走モード	逃げていく MiP の進路をさえぎって方向を変化させて遊ぶゲームモードです。
待機モード	自立して指示を待ち、手をかざすとリアクションを楽しめます。

Bluetooth を搭載しているため、専用アプリで iPhone・iPad や Android 端末と連動させることで遊びが広がります。MiP を自由自在に走らせたり、ゲームをさせたり、ご飯をあげたり、好きな曲をかけて踊らせることが可能になります。

また、海外では WowWee 社(本社カナダ)が2014年夏より販売を開始する予定です。

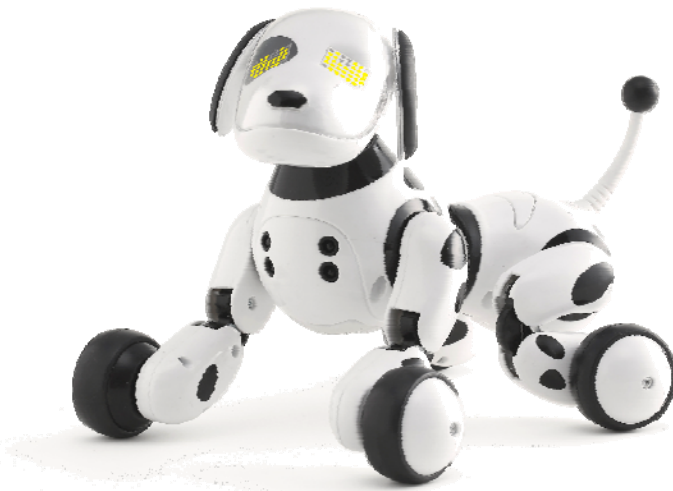
### < 商品概要 >

商品名 : 「Hello! MiP(ハローミップ)」2種(ホワイト/ブラック)  
希望小売価格 : 各15,000円(税抜き)  
セット内容 : ミップ本体(1)、ディスプレイ用スタンド(1)、トレー(1)、取扱説明書(1)  
商品サイズ : (W)130mm×(H)190mm×(D)70mm  
商品重量 : 350g(電池除く)  
発売日 : 2014年6月21日(土)  
対象年齢 : 8歳~  
販売目標 : 年間5万個  
使用電池 : 単4形アルカリ乾電池4本(別売・連続稼動1時間)  
公式HP : <http://www.takaratomy.co.jp/products/omnibot/hellomip/>  
著作権表記 : (c) TOMY  
無料アプリ : 「MiP」※iOS・AppStore、(iPhone)「MiP」で検索。Androids 版は4月末より配信予定です。



## ことばに反応する賢い仔犬「Hello! Zoomer(ハローズーマー)」

Zoomer は、愛嬌たっぷりの小型犬ロボットです。音声認識機能を搭載しているため、人の言葉を理解し反応してくれます。勢いよく尻尾を振ったり、あちこち走り回ったり、息を荒げて擦り寄ってきたりと自由奔放で、ダイナミックな動きが特徴です。傾きセンサーを搭載しているのも、自由に身体をひねりあおむけになることも出来ます。赤外線センサーで前にあるモノを認知するので、「ついてきて」と声をかけて歩くと、後をついてくる利口なペットです。



実際に動く様子をこちらから  
ぜひご確認ください↑

©TOMY

Zoomer には**3つのモード**(ドッグトレーナーモード、フレンドリーモード、英語モード)があり、15以上の英語と30以上の日本語の2ヶ国語を理解します。目が液晶になっているため、うれしいときはハートマーク、眠そうな虚ろな瞳など、表情豊かに気持ちを表現してくれます。赤外線センサーを搭載しているのも、手やボールの動きを捉え、前を歩く人の後をついて来たり、転がるボールを追いかけてたりします。

デザインモチーフとなった犬種は小型犬ロボットでは珍しい「ダルメシアン」です。本物の犬に2つとして同じ柄がないように、Zoomer も1万種類以上のブチ模様を用意し、一匹ごとに個性を持たせました。

・**ドッグトレーナーモード**: しつけをして遊ぶモードです。

「おすわり」というと、ワン! と吠えて前足をまっすぐ立て、後ろ足を曲げおすわりします。また、「ふせて」というと、全ての足を曲げふせのポーズをとります。犬と同じように、しつけには手間がかかります。最初は簡単に言うことを聞いてくれなかったり、何度か指示しないと忘れてしまったりする場合があります。

・**フレンドリーモード**: 友達のように話しかけて遊ぶモードです。

「ズーマー、ただいま」というと尻尾を振り興奮してぐるぐる走り回ります。前に立ち「ズーマー、ついてきて」といい、ゆっくり歩くと、足元をついてきてくれます。

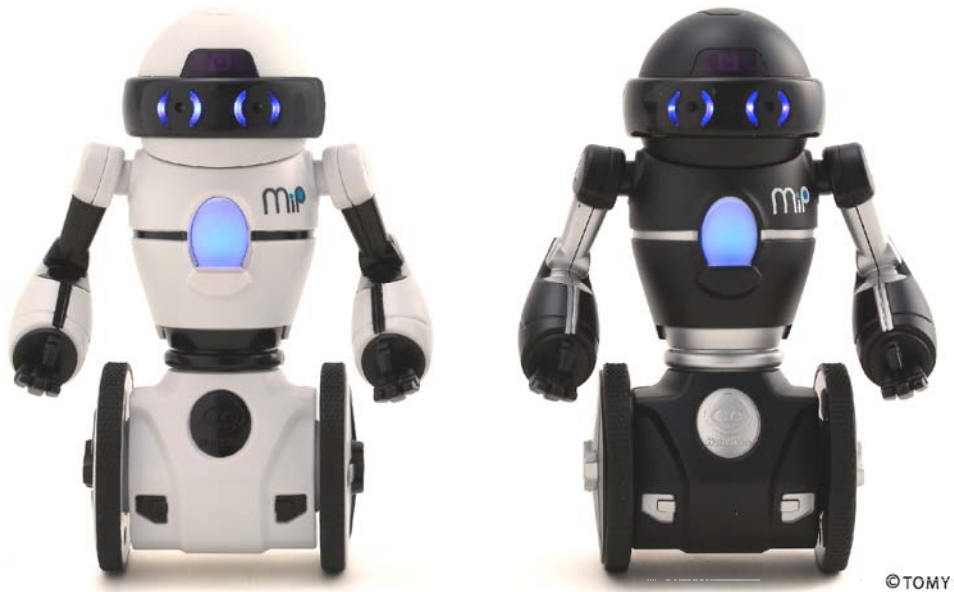
・**英語モード**: 英語で話しかけて遊ぶモードです。

“Zoomer, play dead”というとき身体を回転させて、死んだふりをしてみせ、“I love you”というとき“I love you”と吠え返してくれます。

なお、Zoomer は2013年にスピンマスター社(本社カナダ)より発売され、アメリカで42万個を販売し、また「トイ・オブ・ザ・イヤー2014(Toy of the Year 2014)」で最優秀イノベーション部門を受賞しました。

### < 商品概要 >

商品名	: 「Hello! Zoomer(ハローズーマー)」
希望小売価格	: 15,000円(税抜き)
セット内容	: ズーマー本体(1)、USB 充電ケーブル(1)、クイックスタートガイド(1)、取り扱い説明書(1)
商品サイズ	: (W)280mm × (H)180mm × (D)200mm
商品重量	: 520g
発売日	: 2014年7月26日(土)
対象年齢	: 6歳～
販売目標	: 年間5万個
使用電池	: リチウムイオン電池(内蔵・1時間充電で連続稼働20分)
公式HP	: <a href="http://www.takaratomy.co.jp/products/omnibot/hellozoomer/">http://www.takaratomy.co.jp/products/omnibot/hellozoomer/</a>
著作権表記	: (c) TOMY



「Hello! MiP」

©TOMY



「Hello! Zoomer」

#### ■タカラトミーとロボットの歴史

タカラトミーは1984年より“ロボットとの暮らし”を身近なものにした「OMNIBOT(オムニボット)」シリーズを展開、その後も「アームトロン」「KIKUZO」などトミーロボットシリーズや、オムニボットシリーズの進化版「i-SOBOT(アイソボット)」など、様々なロボットを世に送り出してきました。



#### ■※OMNIBOT(オムニボット)シリーズとは

1984年にトミー(当時)から発売した本格的なホームロボットシリーズの総称です。初代は身長40cm体重4.5キログラムの大型ロボットでした。リモコンで操作し、コマンドをカセットテープに記録して何度も再現することができました。それにタイマー機能を組み合わせて決まった時間に特定の音声と動作を再生するプログラム機能が搭載されていました。

#### <報道各位から本件に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミー 広報部 TEL 03-5654-1280 FAX 03-5654-1380

#### <読者から商品に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミー お客様相談室 TEL: 0570-04-1031(ナビダイヤル)

※IP 電話・一部携帯電話、PHS 及び海外からのお電話は03-5650-1031をご利用ください。